

# 佐久間町浦川 Foot Path

～コミュニケーション散歩道～

## Aコース(ジオコース)案内

平成26年度浜松まちづくり公社助成金事業



### 「マップ」作製にあたって

浜松市天竜区佐久間町浦川地区には、昔ながらの里山の風景が残されています。貴重なこの風景を広く市民に知ってもらい、楽しみ、里山の大切さを感じとって下さい。

### フットパスの楽しみ方

浦川の里山風景の魅力は、中央構造線の内帯と外帯によって形成された地形による山林、生活道や古道、史跡など多様です。地図をたよりに歩き、探勝・発見して下さい。

### フットパス散策の心得とお願い

- \* 素晴らしい風景を維持・管理されている地元の方々への感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。
- \* 道から外れ田畑や屋敷などに入らないようにしましょう。
- \* 農作物や動植物の採取はやめましょう。
- \* 地元の方の生活の邪魔にならないよう気を付けましょう
- \* この風景を文化的資産として守り育て地域の安定的な発展に結び付ける方法を考えましょう。

### 佐久間町浦川へのアクセス

- \* JR利用の場合：浜松駅から豊橋駅経由で飯田線・浦川駅下車(約3時間)
- \* 車利用の場合：三遠南信道利用で浜松駅から浦川駅まで約1時間40分、国道152号、473号線利用で約2時間

制作 世界遺産の会

〒432-8002

浜松市中区富塚町919-231

TEL 053-472-2480

E-mail roysuzu@nifty.com

©マップ作製にあたり次の方々にお世話になりました。  
NPO法人 がんばらまいか佐久間、佐久間協働センター、地元の皆様、一般財団法人 浜松まちづくり公社

### ガイドマップの使い方

- \* 解説のガイド番号(①・・・)は、メインコースではその番号の周辺から次の番号までの状況を解説しています。
- \* 各コースの発着地は★マークで示しています。
- \* 公共交通機関はJR飯田線のみです。発着時刻など事前に確認するようお願いいたします。
- \* 駐車場、トイレも限られています。

### フットパスコース概要

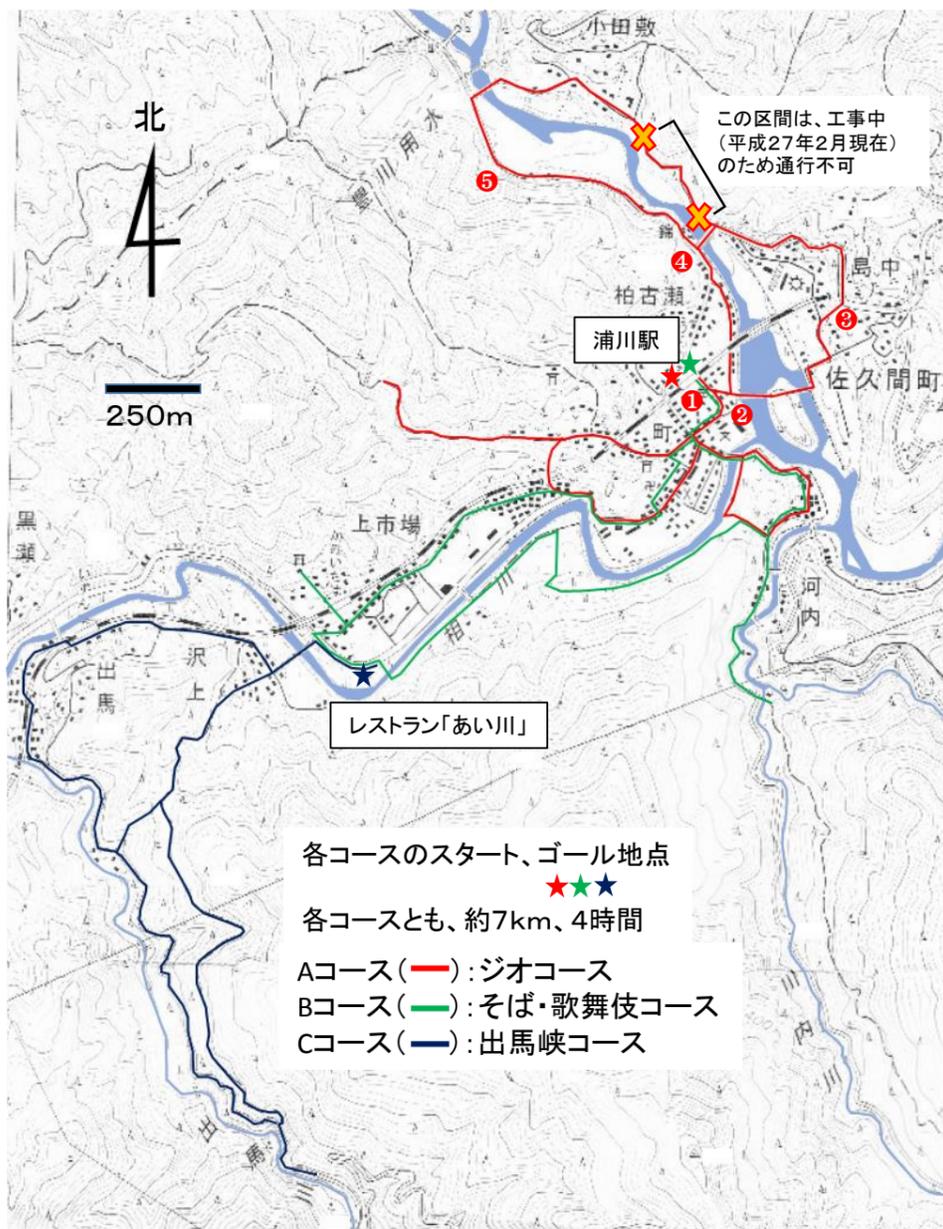
- Aコース: 浦川の中を通る中央構造線を学習できる地質観察に重点をおいたコースです。
- Bコース: 浦川の自然、歴史、文化を通して今の生活を味わえるコースです。
- Cコース: かつての生活道(山道)を歩き、出馬峡を訪ねるコースです。

### 佐久間町浦川の概要

遠州北部に位置し、山に囲まれた盆地状の土地で、水窪の青崩峠から続く中央構造線が町の中を通っています。

住居はほとんどが川沿いにあります。盆地であるだけに夏場は高温、夕立が多く、冬季は降雨・降雪時の山では上が白く麓は黒いセパレートな景色を見ることができます。

かつては街道の交差点として賑わいました。近年は浦川歌舞伎とそばの里として知られています。



佐久間町浦川フットパスコース全体図





① JR浦川駅がスタート・ゴール地点。駅前から斜め左の道を進みます。大千瀬川とつり橋がみえてきます。



② つり橋手前の浦川キャンプ場入口駐車場に中央構造線の説明板があります。ここから中央構造線の断層で出来たケルンコルが眺められます。



③ 浦川キャンプ場に架かるつり橋をわたります。



④ 島中集落に入り、田圃の中の道を進みます。



⑤ 大岩の上に津島神社があります。



⑥ 津島神社の狭い脇道を登り国道473号線に出ます。左折して少し行くと右側崖に中央構造線の説明板があります。浦川方面、飯田線の方角に中央構造線が走っています。



⑨ 県道に沿って宿場町の風情を残す町並みの中を進みます。浦川小学校の前を通り、浦川駅に戻ります。



⑧ 峠越えた先には、相川の澄み切った深い淵に魚がイッパイ。



⑦ 尻平沢から上市場への峠を越え、県道1号線に出ます。峠から上市場集落の風景。



⑬ 同じ道を引返します。舗装路になり、少し行くと沢の右側に馬頭観音をのせた大石があります。そこに架かる橋を渡り、上市場に抜ける細い山道を登ります。



⑮ さらに上流へ。案内標識がある広場を過ぎ少し行くと岩石標本公園(!?)があります。草に埋もれ荒れていますが素晴らしい岩石の標本です。



⑭ 尻平沢をさらに進むと鹿塩圧砕岩(マイロナイト)の河床があらわれます。中央構造線の説明板があります。



⑫ かつて秋葉街道でもあった尻平沢に沿って山道を進むと破碎帯の粘土層が露出した場所に出ます。中央構造線の説明板があります。



⑫ ホルンヘルスを確認したら来た道に戻り錦橋を過ぎ柏古瀬の集落に入ります。県道1号線から右に入り民家が点在する中を診療所の前を通り、道なりに進むと正面に飯田線の堤が見えます。堤に沿って進み、踏切を右折し、尻平沢に入ります。



⑨ 大千瀬川に架かる錦橋を渡ります。正面山側(大千瀬川右岸)に錦橋の由来が書かれた説明板があります。



⑩ 大千瀬川の河原の石は丸い花崗岩。



⑪ 大千瀬川上流に向かって進みます。山側に片状ホルンヘルスの露頭(トンネル工事が進む)が見られます。付近に欠片がころがっています。



① 杉林に囲まれた山の上に南宮神社があります。元は、浦川小学校の場所にありました。石段を登るのが大変です。



② 相川の流れを変えた矢高翁の顕彰碑。橋の下の両岸には、岩の掘削を彷彿とさせる跡が残っています。



③ 大千瀬川と相川の合流地点から河内集落に向かう途中、山側の崖にジオサイトの説明板があります。

### サブコース